

挨拶をしましょう

先週の6月29日から今週の終わりの7月10日までの2週間、大阪市の全ての学校が、「いじめについて考える日」になっています。いつもはゴールデンウィーク明けに設定されていましたが、学校がずっと休校だったこともあり、今の時期になりました。

10年くらい前までは、何回か続けてするのが「いじめ」でしたが、今は自分のまわりの人からたたかれたり、嫌なこと言われたり、された人が嫌だと感じたら、たとえ一度だけであっても、それは「いじめ」ということになります。昨年も話をしましたが、大切なことなので今年も言います。例えば、みんながよく使うドッジボール。釘がささったら、どうなりますか？穴があきますね。くぎをぬいたとしても、穴は残ったままとなります。その穴は元には戻りません。いじめはそれと、とても似ています。暴力だけではありません。むしろ、言葉の暴力の方が傷つくことが多いかもしれません。悪口を言われて、まわりの誰かを傷つけたとします。あとで謝っても、言ってしまったことは取り返しがつきません。先月の目標は「気持ちの良い言葉を使おう」でした。悪口を言ったり、汚い言葉を使ったりするのは気持ちの良いものではありません。皆さんにはぜひ、その言葉を言うと言われた相

手がどう思うのかを考えて欲しいと思います。

みなさんも知っている人がいるかもしれません。5月に「テラスハウス」という番組内での出来事について、SNS でたくさんの人から悪口を書かれた女性が自殺をしました。

今は、誰でも気軽に SNS などに書き込むことができます。そして、顔が見えなかったり、誰が言ったかわからなかったりすることで、書かれた本人が、とても傷つくようなことを平気で書く人が増えています。

また、仲間内でのグループでも仲間外れをしたり、悪口を書いたりしてトラブルになることも増えてきています。こちらも同じで、一度書いてしまったものは、元には戻りません。たとえ、後で書いたことを取り消したとしても、悪口などを見てしまった人の心の傷を消すことはできません。

さまざまな場面で共通することですが、相手の立場に立って考えることが大切なので、みなさんにはぜひ、意識をして欲しいと思います。